



● 金丸弘美

かなまる・ひろみ/食環境ジャーナリス
ト。1952年生まれ。執筆活動のほか
食のアドバイザー事業を手がける。著書
に「ゆらしい島のスローライフ」(学研)、「
創造的な食育ワークショップ」(岩波書
店)、「田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5
つの法則」(NHK生活人新書)など多数。

7 イギリスの農家民宿

ロウファームを訪ねた

イギリス中西部のヘレフォード
シャー県ペンブリッジ村のロ
ウファーム(Lowe Farm)を訪ねた。
ロンドンから車で2時間ほどのとこ
ろにある。イギリスで主流となつて
いる農家の宿泊施設B&Bを実際に
体験するためである。

B&Bとはベッドルームと朝食
(bed&breakfast)の略。農家の一
部を改装し、泊まれるようにした宿
泊施設で朝食を農家が提供する。こ
こを拠点に観光をしてみよう。日本
でも盛んに言われるようになったグ
リーンツーリズムのモデルである。
ウイリアム夫妻の農場は、住まい
と養鶏小屋を改装して部屋を作り、
宿泊施設として運営している。農業
はご主人が専門に行い、宿泊施設は、

奥さんのジュリエットさんが手がけ
ている。

母屋にツインが2室。鶏舎を改装
した離れは、ツイン1室、ダブル1
室、シングル1室。離れのダブルの
一室に泊った。

花柄の壁紙。飾窓には可愛らしい
カーテンがあり、その向こうには緑
が一面に広がっている。ベッドはき
ちんとベッドメイキングがしてある。
シャワールームがあり、シャンプー、
石鹸、バスタオル、バスローブが置
いてある。トイレもある。

ホテルなみの居心地のよさだった。
朝食は母屋の独立したランチルー
ムでジュリエットさんがオーダーに
来る。出てくるのはイングリッシュ
モーニング。トマトのグリル焼き、
ソーセージ、ベーコン、卵、トース
ト、マッシュルーム。果物。紅茶と
コーヒー。

ウイリアムさんの農場は80ha。日
本では大規模農家だ。大麦、カラス
麦(オートミール、ウイスキーに利
用される)、ジャガイモ、牧草の栽
培、羊100頭の飼育などをしてい
る。ところが、農業収入を訊いてみ
ると800万円。そのうちの半分を
B&Bが占めるという。年間宿泊客
は1000人を超える。

農業だけでは苦しく、農閑期には
水道工事や電気工事のアルバイトに
もでかける。規模が大きい分、農業
収益が高いかと思うとそうではなか
った。生産だけでは収益は低い。日
本と事情はまったく変わらない。

イギリスでは農家の事業として女
性が営むB&Bが急伸。8000軒
もあり、1兆5000億円の産業に
なっているという。格付けもされて
いて、今や農家のB&Bはホテルと
同格に扱われ、専門のサイトやガイ
ドブックもある。EUでは、農村の
観光を重要な産業と位置づけている
のだという。

ジュリエットさんがB&Bを始め
たのは、1999年。彼女は銀行に
勤めて家計を支え、2人の子どもを
育てた。そして、アレルギーにかか
ったことから仕事を辞めて、農業の
場を活かすことができるB&Bに乗
り出したのだという。

なにより素晴らしいのは古いたた
ずまいや農村景観が美しいこと。イ
ギリスでは古い建造物をすべて活か
す政策になつていて、景観保護や野
鳥や昆虫など生き物を生息させるた
めの条例と助成金があり、それが美
しい村をつくりだし、観光の大きな
要素になつていった。



【上】農家の古い建造物をそのまま使ったB&Bの外観。



【右】宿泊した部屋には毛足のながい絨毯が敷いてあった。